



千代田カルチャーテック
アクセラレーションプログラム
応募要領

2026 年 7 月

千代田カルチャーテック運営事業者
合同会社デロイト トーマツ

目次

1. 本プログラムの目的	3
2. 参加資格	3
3. プログラムの概要	5
(1) 全体像.....	5
(2) プログラムスケジュール.....	5
(3) 支援体制	6
(4) 支援・提供内容詳細.....	6
4. 応募・審査	7
(1) 応募方法	7
(2) 応募スケジュール	7
(3) 審査プロセス	9
(4) 評価の視点	9
5. 本事業の問い合わせ先.....	10

1. 本プログラムの目的

「千代田 CULTURE×TECH（千代田カルチャーテック、CCT）」は、千代田区の産業・文化を支えてきた企業と、新たな産業を切り拓くスタートアップがつながり、共創することで地域課題解決のためのイノベーションを創出するコミュニティです。多様なプレイヤーの連携を促進し、千代田区の持続的な成長と発展につなげていくことを目指しています。

CCT では、区内各拠点（秋葉原・万世橋／神田錦町・神保町）での相談窓口やオンライン（Slack）での情報交換・交流を設けています。

共創を志向する千代田区内のスタートアップ・中小企業を始め、共創を支援・連携したい多様なプレイヤーがメンバーとして参加できます。

本施設では、共創を生み出す施策として、アクセラレーションプログラムを提供します。プログラムを通じて、「事業企画力」「共創プラン」「共創パートナー」を獲得し、共創を通じた地域課題解決を達成できるよう、本プログラム参加者への集合研修やメンタリング、地域プレイヤー等とのつなぎこみ等を実施いたします。

2. 参加資格

- ✓ 千代田区内のスタートアップ※1
- ✓ 千代田区内で1年以内に創業またはスタートアップの立ち上げを検討している個人または団体
- ✓ 千代田区内の新たな挑戦に取り組む中小企業※2
- ✓ 区内外問わず、千代田区内のスタートアップや中小企業、区内団体等とオープンイノベーションなどの共創を行う、または検討しているスタートアップまたは中小企業

※1 創業から10年以内で、先進的なアイデアや知見によって革新的なサービスの提供や社会課題解決に挑戦する事業者

※2 中小企業基本法で定める中小企業者に該当する者

なお、次に該当する場合は、審査対象外としますので、ご了承ください。

- (ア) 千代田区暴力団排除条例第2条第1号に規定する暴力団である団体又は代表者若しくは団体の構成員が同条第2号に規定する暴力団員若しくは同条第3号に規定する暴力団関係者である者

- (イ) 心身の故障により本プログラムの受講を適正に行うことができない者
- (ウ) 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- (エ) 代表者が禁錮以上の刑に処せられ、執行終了日又は執行を受けることがなくなった日から2年未満の者
- (オ) 会社法（平成17年法律第86号）第475条若しくは第644条の規定による清算の開始又は破産法（平成16年法律第75号）第18条第1項若しくは第19条第1項の規定による破産手続開始の申立てがなされている者
- (カ) 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条の規定による更生手続開始の申立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）第21条の規定による再生手続開始の申立てがなされている者
- (キ) 政治活動又は宗教活動を主目的とする団体
- (ク) 応募に際して虚偽の情報を記載し、虚偽の申告を行った者

3. プログラムの概要

(1) 全体像

「研修」「メンタリング」「イベント」を中心とした約3か月間の伴走支援型プログラムです。
本プログラムを通じて、千代田区における社会課題解決と参加企業の成長を促進します。

プログラム項目	プログラム内容
①研修	共創プラン構築や共創相手とのマッチングに必要な知識等のインプット
②メンタリング	個別面談を通じた共創プラン構築支援や、共創パートナーとなる区内ステークホルダー等とのマッチング機会の提供
③イベント	リバースピーチ会やピッチ練習会等を実施

(2) プログラムスケジュール

9月～11月までの間、隔週～月次のプログラムを3タームに分けて実施する予定です。
共創初期仮説構築→共創パートナー獲得→共創プラン策定のステップでプログラムを進めます

【プログラムスケジュールのイメージ※】

	9月				10月				11月				
	7週	14日週	21週	28日週	5日週	12日週	19日週	26日週	2日週	9日週	16日週	23日週	30日週
マイル ストン	共創プラン初期仮説構築				共創先確保				共創プラン磨き上げ				事業化 支援
	キックオフ 共創基礎研修												プログラム修了
研修	共創 概念 的理 解・ 要諦												
メンタ リング	共創プラン 初期仮説構築				リバーピッチを踏まえた初期仮説の修正				共創プランの最終化・ ピッチ資料への落とし込み				
					共創候補者とのマッチング支援								
イベン ト					リバー スピー チ会								ピッチ 練習 会

※本スケジュールはイメージのため、変更となる場合がございます。

（３）支援体制

プログラム受講者に対して、専属で１名のメンターが伴走いたします。

（４）支援・提供内容詳細

■ 研修

共創に関する概念的な理解や、共創パートナー先となる区内中小企業のビジネスモデル等、共創プラン構築やステークホルダーとの共創に必要な知識の習得を、講義形式の研修を通じて提供します。

■ メンタリング

２週間に１回程度、受講者との個別面談（メンタリング）を通じて、共創プラン構築や共創パートナーとのマッチングを支援します。

■ イベント

プログラム序盤に共創先候補を招待し、リバースピーチ会及び交流会を実施いたします。リバースピーチを通じた共創候補先のニーズや自社サービスの活用法についての解像度を高める機会を提供予定です。

なお、事務局による事前調整を通じた登壇者として、秋葉原エリアマネジメント組織（秋葉原エリアにおける空間活用等）、区内不動産事業者（築古物件の利活用や区内周遊促進）、鉄道関連事業者（他地域からのユーザーの誘引や既存アセットの利活用）、区内行政関係者（ゼロエミッション関連施策の実施協力）等を予定しています。

■ 事業化支援

構築した共創プランを基にした事業化支援を実施いたします。具体的には、区内における実証実験の実施や、他支援事業へのエントリー支援等を実施いたします。

また、12月にCCT事務局主催で実施予定のビジネスコンテストにおいて、ご登壇いただける機会の提供を予定しています。

4. 応募・審査

(1) 応募方法

次の表に掲げる提出書類等をホームページ（<https://culture-tech.city.chiyoda.lg.jp/>）からダウンロードし、期日までに以下の提出先まで電子メールにて提出の上、申請完了登録を Forms にて実施いただくようお願いいたします（<https://forms.office.com/e/3fpS98HjUJ>）。

< 提出書類等 >

提出書類	内容	締め切り
①参加申込書 (Word)	本プログラムへの参加申し込み及び誓約事項に関する資料	8月14日（金）17：00
②申請書 (Excel)	「企業概要」と「事業概要」で構成され、評価に則田項目に従い記載を行う申請資料	
③申請完了登録 (Forms)	申請が完了したことを登録するフォーム	

【提出先】

千代田カルチャーテック運営事業者

合同会社デロイト トーマツ

メールアドレス：Chiyoda_Culture_Tech@tohmatu.co.jp

(2) 応募スケジュール

8月14日に応募書類の提出を締め切り、8月中に書類・面談審査を実施のうえ、受講者を決定いたします。

【応募スケジュール（予定）】

- 応募開始：2026年7月13日(月)
- 参加申込書提出締切：2026年8月14日(金)
- 申請書提出締切：2026年8月14日(金)
- 面談審査完了※・プログラム受講者決定：2026年8月28日(金)
- プログラムキックオフ：2026年9月上旬

※申込多数時は、書類審査を一次審査とし、面談審査を行う申込者の絞り込みを行う場合がございますので、ご了承ください。

	7月				8月				9月
	13週	20日週	27日週	3日週	10日週	17日週	24日週	31日週	7日週
マイル ストーン	7/13 (月) 公募開始 ▼				8/14 (金) 公募締切 ▼		8/28 (金) 受講者決定 ▼		9月上旬 プログラム開始 ▼
応募	公募期間 (約5週間) →								
審査					書類・面談審査 →				

(3) 審査プロセス

本施設のコンセプトに則した評価の視点に則り、「書類審査」「面談審査」を経て、計5者のプログラム受講者を決定します。

7月～8月：面談・審査	8月：受講者決定
• CCTのコンセプトに基づく支援対象に適した視点に則り、評価を実施 • 応募者が提出した書類を基に、書類審査及び面談審査を実施（応募者多数の場合には、書類審査時点での絞り込みの可能性有）	• 最大で5者の採択を想定 • 8月下旬頃に受講者を決定し、9月上旬からプログラムをスタート

(4) 評価の視点

本施設のコンセプトに則り、次の5つの視点で評価を行います。

①事業プランの実現性	• 具体的な事業プランを有しており、課題が明確になっているか • 事業プラン・サービスの拡大や成長が期待できるか（新規性・独自性、市場性・比較優位性を有しているか）
②社会課題解決性	• 千代田区内における社会課題解決（地域課題）を明確に捉えられているのか。また、区内外への水平展開が可能であるか
③先駆性	• 社会課題に対するソリューションがイノベーション・新たな価値創出に繋がるものであるか
④まちづくりへの寄与	• 解決の裨益が、主体となる事業者だけでなく区内のまちづくり（住民のQOL向上、昼間人口の増加等）に還元されるのか
⑤共創志向性	• 千代田区が有する産業の独自性・技術優位性や産業の文化的側面を活用した共創を志向しているか

5. 本事業の問い合わせ先

千代田カルチャーテック運営事業者

合同会社デロイト トーマツ

メールアドレス：Chiyoda_Culture_Tech@tohmatu.co.jp

【運営事業者の企業情報】

社 名	合同会社デロイト トーマツ
設立	2025 年 12 月
本社 所在地	東京都千代田区丸の内 3-2-3 丸の内二重橋ビルディング
事業内容	監査・保証業務や税務・法務領域を含むデロイト トーマツ グループの総合力と国際力を活かし、複数専門分野を掛け合わせて、戦略策定から実行、またテクノロジーの実装や運用など、End-to-End のサービスを提供します。また、業界知見を深化させ、クライアントの持続的な成長や新産業創造を支援します。
URL	https://www.deloitte.com/jp/ja/about/group/deloitte-tohmatsu-llc.html

以上